

No. 350

全ヤ

7/89

ルンビニー園復興にご協力を



—完成間近の中央友情橋—

全日本仏教会

『全仏』誌創刊350号記念座談会

出席者

- 石井 研士 (文化庁宗務課専門職員)
- 中野 東禅 (曹洞宗教化研修所講師)
- 福田 一政 (すずき出版『宗教情報』編集長)
- 司会 野生司祐宏 (全仏社会部長)



—文化庁の石井研士氏



—曹洞宗の中野東禅師

これからの仏教界 とニューメディア

技術革新の激しい現代。新しい情報伝達手段(ニューメディア)が、次々に実用化されています。それほど遠くない将来、私たちの布教方法も、こうした新しい情報機器を利用して、大変容を上げているかも知れません。本誌創刊三五〇号を記念して、仏教界(教団・寺院・僧侶)の今後と、ニューメディアの利用法について、専門家の方々に話し合いました。(文責 社会部)

司会 最初に、今日の仏教界についてどうお考えか、そんなところからお話しただきたいと思います。

中野 現在の伝統的な日本仏教は、あまりにも日常化しすぎてしまっています。民俗宗教としての「葬祭」に対する役割だけが大きく、宗派は同業者組合化し、戒律などの問題も、あいまいになってい

ます。

石井 私は、この五年間位で、仏教に対するイメージがずいぶん変わったような気がします。ニューメディアに関することでも、例えば曹洞宗の「マリカの願い」という、大変感銘深いアニメのビデオが製作されています。西本願寺の「仏典物語」のように、コンセプトも作品の質自体もきわめて高い、しかもいろいろな形で利用可能なシリーズも、創られています。私が教えている大学の学生にこれを見せると、「ああ、仏教とはこんなものなのか」と、皆驚きます。

さらに、コンピュータの「真宗ネット」、これは、宗団(西本願寺)としてきちんと

とスタートした、最初のネットでしょう。このように、いろいろ新しい試みが起きているといえます。

福田 つい最近、父親の法事があり、その席で若いご住職が、法話をされました。初めての体験で、新鮮な印象でした。「葬式仏教」という批判に対して、何かやって行こうという気持がひしひしと感じられました。こういう傾向は、全体から見ると、まだ萌芽にすぎないのではないのでしょうか。

宗教書ブームといわれたい

司会 宗教が求められている時代だとか、宗教書ブームだとかいわれていますが、それに対してはいかがでしょうか。

中野 山折哲雄氏が以前定義した「宗教的消費者」は確かに増えています。孤獨な大都会の中で、宗教書を買って求め、坐禅会などに集まる。ただこういう人たちは、色々な宗教を渡り歩いていきます。一方、普通の檀信徒は、あまり仏教書など読まない。お寺に先祖供養だけを求めているんです。

福田 本当に宗教書ブームなのかどうか。それならば私共の本も、もっと売れているはずなのですが(笑)。実際に売れているのは、オカルト的なものとか、メデイーションなどの本です。若者が列をなしているのは、「精神世界」のコーナーであって、伝統的な仏教書の所ではないと思う。

石井 私が接触している若い人たちは、



— すすき出版の福田一政氏

宗教への関心が大変高い。そういう人たちは、これまででしたら、特定の宗教へ自分の一切をまかせ、わからないなりについて行くはずなのですが、今では、自分なりに納得したので、色々な宗教を渡り歩くのです。色々な教団のあつちから取りこつちから取り、自分でつぎはぎだらけの世界観を構築しているわけです。それは弱く脆いもので、いつまでもたない。しかし今日の伝統教団の中には、そういう若者を取り込むだけの体制ができていないわけです。

伝統教団の中では、四〇代以降の方々と以前の方々では、大きなギャップがあると思います。それは単に年の差だけではなく、質的なものです。簡単に言えばテレビ世代・映像世代か否かということ。両者は情報量が全く違うわけで、圧倒的な情報量で育ってきた若者と、それ以前の相対的に少ない情報の中で、固まった価値観で生きてきた人たちは、考え方に大きなギャップが出来る。そういう若い人たちに、ある程度、権限を委譲してやれば、かなりおもしろいことを

やるんじゃないか。例えば浄土宗の大阪教区で、大々的なパフォーマンスをやって、成功したと聞いています。

中野 集会活動が全部ダメになって、パフォーマンス宗教になっていきます。子供会もボーイスカウトも、聞法会も人が集まらない。人間が一定の時間、一カ所に集まって、人格関係を持つことができなくなりました。それに代わるものが、ニューメディアやパフォーマンス布教なんです。

石井 私はニューメディアに全幅の信頼をおいているわけではありません。限

若い人達への環境作り

福田 肉親を亡した時は、宗教について考えるよい機会です。そういう時こそちゃんと布教していただきたい。例えば戒名は、普通は一方的に与えられ、読み方もよくわからない。最近になって、若い方々が、「ビハラ」など様々な活動に取り組み始め、希望の芽が見えてきた。しかし、若い方々が新しいことを始めようとしても、お前たち何故、余計なことをやるんだと、父親や長老から言われると聞きます。

中野 先祖の祭りは理屈めきです。葬祭仏教にとって、意味を問うことは、かえってじやまになってくることもある。ところが一方、仏教は心の問題を解決するものだと思われている。このように仏教には多様な面があるんですから、高度経済成長をとげ、都市化した現代社会

界があります。テレビで語りかけても、ある一定以上は語れない。ニューメディアは、全人格的な交流へもつていく手段ではないか、と考えています。

私は「葬式仏教」というのは、蔑称だとは思っていませんが、実際に近親者を亡くした時、例えば、「何故戒名をつけるのか」、「亡くなった人はどうなるのか」、「御位牌にはどんな意味があるのか」などの質問をお寺さんにしても、的確な答が返ってこない。そういうことをきちんと教えていただかないと、単なる儀礼で終わってしまう。

で、若い人たちがやる気を起こすような環境を作っていくなければならぬ。しかもそれは、単発的にイベントをやったりパフォーマンスをやってもだめなんので、他と連動していかなければ意味がないということなんです。

石井 昨年駆け足でアメリカを回ったのですが、どこへ行ってもテレビに宗教チャンネルがあるんです。一日中、宗教番組だけを専門に放映しているチャンネルですね。日本でも、CATVが普及すれば、これも可能性があると思います。

中野 ここで問題なのは、日本の仏教界が貧しいことです。教団そのものが非常に貧しい。大教団でも、年間予算は大企業の一カ月間のコマーシャル代程度です。今はお寺も清貧では生きてゆけない。一つのお寺を維持するだけでも、年

間数百万円程度では、瓦や庭の手入れもできない。

福田 教団の中には、テレビやラジオを使って布教しているところもありますね。あれは大変な出費でしょう。

司会 現代の日本は、世界でも有数の経済大国であり、大変豊かな社会だといわれています。しかしそのわりには、伝統教団はあまり豊かでない。理由の一つとして、例えばアメリカなどでは、個人でも企業でも、宗教団体に寄付すると、一定金額まで損金扱いになるそうです。税制面で、日本よりずっと優遇されているわけです。日本は現状でも、マスコミ等から、いろいろ批判がある位ですから。

中野 日本は、国家の力が強すぎるんです。宗教が自由に動けるような体制がない。歴史的にも、信長、秀吉、家康と三代に互って、「いかに宗教の力を国家に組み込むか」ということに腐心したので、すから。そういう意味で、この国は世界で一番先端をいっている超世俗国家といえそうです。

司会 このあいだ、NHKが「お寺が消える」という番組を放映し、大きな反響がありました。これは過疎地域のお寺を取り上げたものですが、一方では、都市部の人口過密地でも、様々な問題が生じております。

中野 宗教は人間関係が基本ですから、教会とか寺院とか修道院といった施設を中心に、地域社会に働きかけるのが健全な姿でした。しかし地域社会は三〇万都市が限度といわれています。現在、日本

人の五人に一人は首都圏に住んでいますから、この地域では、葬祭だけをとって、僧侶の絶対数が足りないわけですね。そこで新寺の建立を、もっと積極的に進めなければならぬのですが、それだけではとてもカバーしきれないと思います。特に、新しい信者を獲得するための開拓的な布教を進める上で、ニューメディアをどう使うか、重要になってくるわけですね。

司会 ニューメディアのお話になってきましたが、その中には、ビデオ、コンピュータ通信、通信衛星、コミック等があるとあります。まずビデオソフトからお話を進めていただきたいのですが。

石井 現在、宗教界全体で、三種類位のビデオソフトが製作されています。

通信衛星の利用法は

司会 次に通信衛星は、いかがでしょうか。

石井 新宗教の複数の教団が、既に衛星のチャンネルを買っています。しかし現在、通信衛星はその使用が一企業（団体）内に限定されているんです。そこが誰でもパラボラアンテナを買えば見られる放送衛星と異なる点です。ですから現状では、一般の人に向けて、新たな信者を獲得するという目的には、利用しにくいと思います。組織を維持するための利用でしたら有効ですが。

中野 伝統教団は、性格的に寺院の集合体ですから、中央集権的ではないんで

そのうち伝統仏教のものは二割ほどだと思えます。しかし質的には、先ほどもお話ししましたように、非常に高いものがあります。ビデオを製作する時、重要なことは、誰を対象とするのか、どのような使い方をするのか、充分に検討してからスタートすることでしょう。さらに若い人たちにも受け入れられやすいよう、コンピュータグラフィックとかシンセサイザーを使うなどの工夫も必要だと思えます。

質の高いビデオソフトは、レンタルに出すことも出来れば、CATVのチャンネルで流すことも可能です。これからは、例えばその地域のお寺にスポンサーになってもらい、ローカル局でどんどん放映するのも夢ではないでしょう。

そこが新宗教と大きく異なるところで、そのため、なかなかマスメディアを使いこなせない構造なのでしょう。

石井 それは受け手側にも理由があって、多くの日本人の宗教観では、マスメディアを通して一方的な布教が行われたり、組織への加入が勧められると、拒否する傾向が強いと思います。そのへんをよく考える必要があるでしょう。

司会 ではパソコン通信には可能性があるのでしょうか。

石井 アメリカの例を見ていると、日本でもだんだん普及していくと思われる。パソコン通信には、地域的な格差

が無いという特徴があり、コンピュータを媒介としながら、擬似的な共同体を作れるという可能性が有ります。今後、コンピュータが、各家庭に入っていくと、有効な道具となり得ます。

司会 ニューメディアと言えるかどうかは、少し疑問ですが、次に、コミックについては、少し疑問ですが、次に、コミックについてお話ししたいと思っています。

福田 仏教は、大きな可能性を持った宝物ですが、まだまだ知られていない面や、非常に誤解を受けている点があります。そこで既に社会的な認知を受けたコミックという手段を使って、もう少し広い範囲の人たちに仏教の入口に来てほしい、そんな意図で企画しましたのが、『**仏教コミック**』（全百八巻、原作ひろさちや、すずき出版刊）です。これまでも、各教団や出版社から、お経とか祖師伝を内容としたコミックがいくつも出されていますが、通宗派でこれだけ体系的なものは、全く初めてだと思えます。学校教科書にもコミックが入る時代ですから、仏教界でも、ますます利用されるようになるのは確実でしょう。

司会 最後に、何かご提言を一言づつお願いします。

中野 ニューメディアを使つての布教と関連して考えていただきたいのは、仏教界全体のデータ・バンクですね。これはぜひ必要だと思えますので、今後の大きな課題となるでしょう。もう一つ、今日では、出版物でも何でも、商業主義から出たものには公共性があります。護教主義のものにはそれが無い。そこで、

これから何かやるには、資本の論理に乗るべきだということですね。

社会の輻輳（ひくじょう）を買いながら、葬祭には巨額のお金が動くようになっていきます。そこで葬祭、儀礼だけに携わっている僧侶の人たちには、現状に対する危機感がありません。葬祭、儀礼はもろろん大切ですが、一つの寺が様々な機能を持ち、もっと色々な活動を行っていくことが望ましいと思います。

石井 ぜひ若い方々に、もっと活動の場を与えていただきたい。多少の失敗は目をつぶるから、開拓的にどんどんやってみなさいと、機会を作れば、今の若い人は、様々なことにチャレンジすると思えます。

福田 やはり宗派仏教を超えたところで、何かやってほしいと思います。今、子供の数が減って、あちこちで幼稚園・保育園が廃園しています。その中でも、特に仏教系のものが著しいわけです。それは、経営難になってきて、そんなことで苦勞するより、お葬式でもやったほうが収入になる、ということなのでしょう。幼児教育には、友達と仲よく遊ぶことを通して、思いやりの心の大切さを育てるといって、宗派を超えて、仏教そのものの価値観に根ざした教化活動の役割があるんです。こういった面も、もっと考えていただきたいと思えます。

司会 本日は貴重なお話をありがとうございました。

暑中御見舞い申し上げます

真宗大谷派

宗務総長	細川信元
参務	村上耕二
同	菅原鈞
同	崖彰辰
同	祖父江照道
同	調紀

京都市下京区烏丸通七条上ル
常葉町七五四
〒600 〇七五(三七七)九一八一

浄土宗宗務庁

浄土門主	藤井實應
宗務総長	大田秀三
総務局長	吉田昭炳
教学局長	牧達雄
財務局長	川井匡俊
社会局長	福田泰道
同和推進	成田有恒
事務局局長	山田瑞祥
同和推進事務局参与	蓮池瑞旭
東京事務所出版室長	松浦行真

京都市東山区林下町四〇〇
〒605 〇七五(五二五)二二〇〇
(東京事務所)
東京都港区芝公園四一七一四
〒105 〇三(四三六)三三五一

日蓮宗宗務院

管長	岩間日勇
宗務総長	澁谷直城
宗務副総長	森惠遠
企画部長	金坂信章
庶務部長	橋田文啓
財務部長	伊藤速雄
教務部長	頂岳龍乘
護道部長	吉田宏遠
現代宗教研究所長	石川教張
参与	白部健順
参与	岡田法順
日蓮宗新聞社社長	千野信和

東京都大田区池上二二三一二五
〒146 〇三(七五二)七一八一
FAX 〇三(七五二)七一八六

総本山金剛峯寺 高野山真言宗宗務所

座主	阿部野竜正
宗務総長	徳富義孝
執行総長	新居祐政
総務部長	資延敏雄
教学部長	中山弘之
財務部長	中山栄岳
法会部長	山岸栄岳
山林部長	楠公延

和歌山県伊都郡高野山二二三二
〒648-02 〇七三(五六)二〇二一
高野山東京別院
主 管 橋爪良恒
高野山弘法大師奉賛会
東京事務所長 富家海信
東京都港区高輪三十一五一八
〒108 〇三(四四一)三三三八

暑中御見舞い申し上げます

臨濟宗妙心寺派
宗務本所

管長 倉内松堂
宗務総長 小倉宗徳
総務部長 西大拙
教学部長 馬場宗信
財務部長 伊藤公照
花園会長 木村潮音
法務部長 澁谷厚保

〒616 〇七五(四六三)三二二
京都市右京区花園妙心寺町

天台宗務庁

宗務総長 江田廣典
参務部長 高松義寛
参学部長 水尾真寂
参社会部長 北角円澄
参財務部長 熊谷亮澄
総務室長 市原孝寿

〒520-01 〇七七五(七九)〇〇三二
大津市坂本四丁目六番二号

総本山仁和寺
真言宗御室派宗務所

管門長 松村祐澄
宗務総長 吉田裕信
執行総務部長 森田美秀
執行教学部長 森尾教禪
執行財務部長 堀川和海
華務長 手嶋千俊

〒616 〇七五(四六一)一一五五
FAX 〇七五四(四四)四〇七〇
京都市右京区御室大内三三

顕本法華宗

管長 古瀬日字
宗務総長 吉永正晴
宗務次長 山田信正
布教部長 山本学人
財務部長 飯沢道宣
教務部長 平田浄応
庶務部長 島田幸晴
社会部長 田島敏義

〒606 〇七五(七九)七一七一
京都市左京区岩倉幡枝町九一
妙満寺

暑中御見舞い申し上げます

臨濟宗東福寺派
宗務本 院

管 長 安 田 天 山

宗務総長 岡 平 篤 道

法務部長 平 住 法 洲

庶務部長 青 木 謙 整

財務部長 中 山 義 豊

〒605 京都市東山区本町一五
〇七五(五三二)五二〇七

孝道教団

統 理 岡 野 正 貫

副統理 岡 野 鄰 子

〒221 横浜市神奈川区鳥越三八
〇四五(四三三)二二〇一

念法真教団
総本山金剛寺

燈 主 小 倉 靈 現

〒538 大阪市鶴見区緑三―四―二二
〇六(九一一)二二〇一

真言宗大覚寺派
大本山大覚寺

管門 長 跡 黒 田 昇 龍

事務総長 岡 田 高 功

〒616 京都市右京区嵯峨大沢町四
〇七五(八七二)〇〇七一

信 貴 山 真 言 宗
総本山信貴山朝護孫子寺

管 長 鈴 木 風 永

前管長 野 澤 密 巖

宗務長 田 中 真 瑞

庶務部長 鈴 木 貴 晶

〒636 奈良県生駒郡平群町信貴山
〇七四五(七二二)二七七
二二八〇一一

総本山誓願寺
浄土宗
西山深草派宗務所

管 長 桜 間 観 刹
宗務総長 鶴 飼 慶 範

〒604 京都市中京区新京極桜之町四五三
〇七四(二二二)〇九五八

新義真言宗

管 長 広 沢 純 孝

〒112 東京都文京区湯島四―六―二二
湯島ハイタウンB―二―二一
〇三(八一四)三四六四

真言宗須磨寺派
大本山須磨寺

管 長 小 池 義 人

〒654 神戸市須磨区須磨寺町四―六―八
〇七八(七三二)〇四一六

日光山輪王寺

門 跡 荻 原 貞 興
執事長 石 塚 慈 尙

〒321-14 栃木県日光市山内二三〇〇
〇二八八(五四)〇五三二

暑中御見舞い申し上げます

神奈川県仏教会

會長 長福永隆 昭
 副會長 小崎竜雄
 同 横山敏明
 同 柳下隆侃
 同 大井重忠
 事務局長 本間孝康
 横浜市西区大平町九六
 〒231 〇四五(六六一)〇一六六 西有寺内

岐阜県仏教会

名誉會長 谷耕月
 顧問 杉山令肇
 参議院議員 橋感月
 全日仏理事 橘感月
 會長 加納博司
 副會長 森芳雄
 同 龍俊美
 同 野村正之
 理事長 竹市周
 岐阜市 寺町研山
 岐阜市 松波高義
 岐阜市西野町三一
 〒500 〇五八二(六六)七八〇三 本願寺岐阜別院内

財団法人 埼玉県佛教会

會長 山本道隆
 副會長 江連俊則
 同 河野亮永
 専務理事 酒井文雄
 常務理事 目黒靖淳
 同 鶴岡幹夫
 同 仁多見東明
 同 萩野映明
 事務局長 北之内真龍
 浦和市高砂四一三一一八
 〒336 〇四八八(六一)二一三八 瑞佛会館

聖観音宗

金龍山 浅草寺

代表役員 大森亮雅

東京都台東区浅草二一三一一
 〒111 〇三(八四二)〇一八一

真言宗中山寺派

大本山 中山寺

兵庫県宝塚市中山寺二一三一一
 〒665 〇七九七(八六)六五一七

本門佛立宗
 本山宥清寺

講 有 梶本 日裔
 宗務總長 井上 日慶
 京都市上京区御前通一条上ル
 〒602 〇七五(四六一)一一六六 東堅町一一〇

新潟県仏教会

會長 中村啓識

長岡市上田町 德聖寺内
 〒940 〇二五八(三三)一五八六

暑中御見舞い申し上げます

静岡県仏教会

会長 長北山 宏明

副会長 杉本 日慈

同 安田 博道

同 伊村 隆恵

同 猪俣 顕忠

藤枝市本町三十一六一三五
養命寺内
〒426 ○五四六(四一)三四一六

愛知県仏教会

会長 長瀬 辺淳信

副会長 江川 辰三

同 牧 忍教

同 原 浩

名古屋市東区東桜
二一六一一五梅屋寺内
〒461 ○五二(九三二)八一二四

京都佛教会

会長 東伏見 慈治

理事長 有馬 頼底

常務理事 大島 亮準

同 清瀧 智弘

同 荒木 元悦

京都市上京区丸太町通千本東入
フラザールビル二階
〒602 ○七五(八〇二)二五三七
FAX ○七五(八〇二)二五三八

財団法人 国際仏教興隆協会

名誉総裁 大谷 光真

理事長 稲田 稔界

印度山 森 寛紹
日本寺竺主

役員 一同

東京都目黒区中目黒五十二四一
五三 祐天寺内
〒153 ○三(七一)七六〇八

社団法人 全日本仏教婦人連盟

理事長 山本 杉

事務局 一同

事務局
東京都豊島区北大塚二一一一
大塚アラザビル七F
〒170 ○三(九一〇)一二八九

福岡県仏教連合会

会長 黒田 英之

北九州市小倉北区三萩野
二一八一二三 西蓮寺内
〒802 ○九三(九二二)四五七六

財団法人

世界平和同願会
中観山同願院昭和寺

理事長 山崎 良順

長野県諏訪市霧ヶ峰強清水
一三三三八一二七
〒392 ○二六(五三)四四五五

真理舎

主管 友松 諦道

東京都千代田区外神田三十四一〇
神田寺内
〒101 ○三(二五一)八六八三
八八四二

財団法人

日本佛教鑽仰会

理事長 中山 静麿

東京都港区赤坂二八一一五
四〇三
〒107 ○三(五八四)九三二〇

暑中御見舞い申し上げます

真言宗智山派
大本山 川崎大師平間寺

貫首 高橋隆天

院代 茂木隆応

総務 馬本克美

執綱 原隆愿

執事 野澤隆幸

常務 小林俊一

〒210 川崎市川崎区大師町四一四八
〇四四(二六六)三四二〇

浄土宗総本山
知恩院

門主 藤井實應

執事 長寺本哲榮

内局 一同

〒605 京都市東山区林下町四〇〇
〇七五(五三二)二二一一

曹洞宗大本山總持寺

貫首 梅田信隆

〒230 横浜市鶴見区鶴見二一一一
〇四五(五八一)六〇二二

大雄山最乗寺

山主 余語翠巖

紀綱 阿部顕瑞

副寺 豊島健生

〒250-01 神奈川県南足柄市大雄町
〇四六五(七四三)二二二二

大本山 護國寺

貫主 小林良弘

執事 岡本永司

院代 上谷良祐

〒112 東京都文京区大塚五一四〇一一
〇三(九四一)〇七六四
〇七六五
八七〇六

大本山成田山新勝寺

貫首 鶴見照碩

〒286 千葉県成田市成田一
〇四七六(二二二)二二一一

京都府仏教連合会

理事長 寺本哲榮

事務総長 中野玄光

〒605 京都市東山区林下町四〇〇
〇七五(五三二)二二一一
知恩院内

テンプルトン賞記念講演会

3千人超す聴講者

・テンプルトン卿が毎年贈るものである。



開かれたテンプルトン賞記念講演会

去る六月十日、立正佼成会普門館大ホールで、テンプルトン賞記念講演会が開催された。

本年はカール・フリードリッヒ・F・フォン・ウアイツェツカー博士（物理学者）とジョージ・マクロード牧師（アイオナ共同体創設者）に贈られた。本年度の受賞式は、去る五月十日にロンドンのバッキンガム宮殿で行われ、受賞式後に行われる講演会が、今回初めて英国外で開催された。

第一回税務委員会

「席貸し」問題など審議

去る五月二十六日正午から、明照会館会議室で、本年度「第一回税務委員会」が開催された。白川事務総長、藤岡覚量税務委員会委員長が挨拶の後、議事に入った。

昨年七月に、本会から国税庁へ提出した、「席貸し」問題に対する提案事項への実質的回答が、本年二月十五日付であった。しかし、その文章中、解釈に幅のある部分があり、現場で混乱が発生する恐れがあるため、本会からの申入れ事項と、今回の回答とが一致するものであることを、関係諸機関が徹底するよう申入を行うことになった。

「宗教法人セミナー」開く

福岡で、県内各地から90名が参集

福岡県仏教連合会主催の「宗教法人セミナー」（後援・全日本仏教会、山一證券株式会社）が、去る六月十九日午後一時半から、福岡ガーデンパレスで開催された。

県内各地から約九十名が参加。関係者の税務問題に対する関心の高さを示していた。セミナーは午後一時半から、黒田英之県仏会長が開会の辞、剛山財務部長等の挨拶が行われた。

福岡県ではセミナーが毎年開催されており、今回で五回目にもかかわらず、県

最初に、同県仏教連合会が七月二十日に開く、「暴力追放総決起大会」に対して

福岡県警察本部から要請があったことが報告された。同大会は暴力団の勢力誇示や、資金集めにつながる組葬、法要に協力しないことを決議するものである。

つづいて講演は、「お寺と消費税」をテーマに、本会顧問弁護士長谷川正浩師が行った。

長谷川師は①寺院と消費税、②その他寺院と税の問題、の二点について説明。消費税とは、物やサービスの提供を受けるといった事実にかかる間接税であるとし、今後寺院の対処法等について、詳細に説明した。

その後、参加者から質問があいつぎ、盛会の内に午後四時半に、予定された日程を終了した。

日本の心を伝える



寺院内陣莊敷・仏具納骨堂工事
はせがわ

西日本本部／福岡市博多区博多駅前日生ビル ☎092(472)1621☎

東京本部／東京都中央区銀座共同ビル新銀座 ☎03(541)3891☎

寺院専門工場 横浜長谷川仏具工事／直方市大字中東明日香台 ☎09492(4)7211☎

信教の自由に関する 委員会

本年度第一回の信教の自由に関する委員会が、去る六月五日午前十一時から、明照会館会議室で開催された。浅野秀慶委員長、白川良純事務総長が挨拶を行い、審議に入った。

①愛媛玉ぐし料訴訟判決の件

去る三月十七日、「玉ぐし料に対する県の公金支出は違憲」という画期的な判決が出された。愛媛玉ぐし料訴訟の意義について、羽生雅則委員（弁護士）から、詳細な説明が行われた。

②靖国神社公式参拝中止要請の件

本年も、「首相及び閣僚の靖国神社公式参拝中止の要請」を提出することが決まり、原案を事務局で作成することになった。

③大嘗祭の件

来年にも予定されている大嘗祭と、信教の自由の関係について、今秋、専門家を招いて勉強会を開催することとなった。

哀 悼

竹田益州師

六月二十日、九十二歳で遷化。臨済宗建仁寺派管長。

事務局長録事

（六月）

一日 浅草仏教会創立五十周年記念式典出席

一九八九年七月一日発行

七月号 第三五〇号

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)
電話 代表(841) 4965

五日 信教の自由に関する委員会

同日 同和委員会正副委員長会議

七日 局内会議

十日 テンプルトン賞記念講演出席

十三日 同和委員会

十五日 同和委員会研究会

十七日 全青協墨跡展出席

十八日 部落解放研究所宗教部会出席

（一、二十三、三十一）

十九日 宗教法人セミナー（福岡）

第34回東京矯正管区管内教誨師研修東京大会出席

北見念法寺落慶法要出席

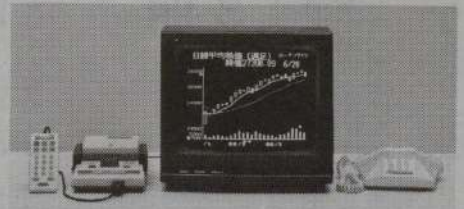
局内会議

二十六日 同宗連研修会出席（一、三十日）

二十九日

ファミコンで、リアルタイムの株式投資。

時価速報など、最新の株式情報がたちまちわかる。早朝、深夜でも株式の売買注文がピピッとできる。山一のサンラインD-III。わが家のファミコンが、こんなに役にたつとは。



山一のサンライン

ピピッと株式、ファミコンで。

お申込みは最寄りの山一証券、本・支店または下記の電話へ

「サンライン」専用お問合せ電話（通話料金無料）

☎ (局外なし) 0120-001234

※平日/8:30-17:00
※土曜(第2・3を除く)/8:30-12:00

山一証券

〒104 東京都中央区八重洲2の4の1
☎(03)276-3181(代表)

詳しい資料をご希望の方は、右の資料請求券を裏面に貼って住所・氏名・電話番号・職業・年齢をご記入の上、〒103 東京・日本橋局区内 山一証券情報部宛にご請求ください。

資料請求券
サンライン
山一
を 仏

発行人 白川良純 発行所

財団法人 全日本仏教会

〒一〇五 東京都港区芝公園四一七―四 電話(03)四三七七九二七五